

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場会社名 日本研紙株式会社

上場取引所 東

コード番号 5398 URL <http://www.nihonkenshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇田 吉孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 吉村 勉

TEL 06-6536-3511

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,615	9.1	△43	—	△80	—	△92	—
25年12月期第2四半期	1,480	△12.8	△22	—	△32	—	△21	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △224百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 342百万円 (617.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△9.00	—
25年12月期第2四半期	△2.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	5,930	1,996	32.9
25年12月期	6,414	2,251	34.2

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,950百万円 25年12月期 2,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	3.00	3.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※平成26年12月期の1株当たり配当金については現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	10.9	△50	—	△100	—	△100	—	△9.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	10,246,500 株	25年12月期	10,246,500 株
26年12月期2Q	24,618 株	25年12月期	23,597 株
26年12月期2Q	10,222,320 株	25年12月期2Q	10,224,120 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年6月30日）におけるわが国経済は、政府による金融・経済対策効果もあり、景気は緩やかな回復を遂げたものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や、想定以上の輸出の伸び悩みに加え株価の低迷も加わり、先行き不透明感を抱えて推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは人件費をはじめとする諸経費の節減・製造原価の低減を進めるとともに、新規顧客の開拓等に努めました。その結果、売上面は消費税増税前の駆け込み需要等もあり前年同期を上回りましたものの、利益面では主として中国子会社の販売が低調にとどまる中、固定費等の経費負担増が重荷となり前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,615百万円（前年同期比9.1%増）、営業損失は43百万円（前年同期は営業損失22百万円）、経常損失は80百万円（前年同期は経常損失32百万円）、四半期純損失は92百万円（前年同期は四半期純損失21百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは研磨材製商品の製造販売を事業内容とする単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を「国内製造販売」「海外製造販売」に変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## [国内製造販売]

国内製造販売セグメントについては、研磨ディスク等の販売増加により売上面・利益面ともに前年同期を上回る水準となりました。

この結果、売上高は1,438百万円（前年同期比7.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は82百万円（前年同期比505.5%増）となりました。

## [海外製造販売]

海外製造販売セグメントについては、中国生産子会社の操業開始に伴い売上面については前年を上回りましたものの、利益面につきましては、中国市場における価格競争の激化や固定費・減価償却負担増等もあり前年を下回る水準となりました。

この結果、売上高は176百万円（前年同期比21.6%増）となり、セグメント損失（営業損失）は130百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）40百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、3,398百万円（前連結会計年度末3,735百万円）となり、前連結会計年度末と比べて336百万円の減少となりました。これは主にたな卸資産が53百万円増加した一方、現金及び預金が392百万円減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、2,456百万円（同 2,589百万円）となり、前連結会計年度末と比べて133百万円の減少となりました。有形固定資産が主として減価償却により109百万円減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は、75百万円（同 88百万円）となり、前連結会計年度末と比べて13百万円の減少となりました。これは中国生産子会社にかかるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、2,195百万円（前連結会計年度末 2,112百万円）となり、前連結会計年度末と比べて83百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が111百万円増加したことによります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1,737百万円（同 2,050百万円）となり、前連結会計年度末と比べて312百万円の減少となりました。これは主に社債が75百万円、長期借入金が195百万円それぞれ減少したことによります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,996百万円（前連結会計年度末 2,251百万円）となり、前連結会計年度末と比べて255百万円の減少となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて、各活動により392百万円減少し813百万円となりました。

## &lt;営業活動によるキャッシュ・フロー&gt;

営業活動の結果使用した資金は73百万円となりました（前年同期は68百万円の使用）。これは主として税金等調整前四半期純損失80百万円の計上となったことによります。

## &lt;投資活動によるキャッシュ・フロー&gt;

投資活動の結果使用した資金は15百万円となりました（前年同期は311百万円の使用）。これは主として有価証券の償還による収入35百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出46百万円があったことによるものであります。

## &lt;財務活動によるキャッシュ・フロー&gt;

財務活動の結果使用した資金は282百万円となりました（前年同期は234百万円の獲得）。これは主として短期借入金の増加額40百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出244百万円及び社債の償還による支出75百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期連結業績予想につきましては、本日公表しております「第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異、通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、国内においては当初想定通りの推移となる見込であります。海外においては、中国市場の競争激化により販売実績化が当初想定より遅れており、開業費の償却や固定費負担等が先行していることから、利益面で当初想定を下回る見込となりました。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、平成26年2月18日公表の業績予想を売上高は3,400百万円、営業損失50百万円、経常損失100百万円、当期純損失100百万円に修正いたします。

なお、配当予想につきましては、今後の業績の推移を慎重に踏まえて判断するべく、現段階においては平成26年12月期期末配当につきましては未定に修正させていただきます。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,205,846	813,698
受取手形及び売掛金	840,995	881,871
有価証券	34,147	—
商品及び製品	224,853	218,207
仕掛品	755,077	747,868
原材料及び貯蔵品	494,328	561,465
繰延税金資産	18,249	16,534
その他	165,391	162,193
貸倒引当金	△3,624	△3,392
流動資産合計	3,735,265	3,398,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	753,755	704,746
機械装置及び運搬具(純額)	940,282	876,931
土地	373,083	373,083
リース資産(純額)	350	4,176
建設仮勘定	4,501	3,986
その他(純額)	23,105	22,163
有形固定資産合計	2,095,079	1,985,087
無形固定資産	143,412	137,747
投資その他の資産		
投資有価証券	270,620	270,643
繰延税金資産	30,882	16,201
その他	50,243	46,896
貸倒引当金	△380	△376
投資その他の資産合計	351,366	333,365
固定資産合計	2,589,858	2,456,200
繰延資産		
開業費	88,933	75,430
繰延資産合計	88,933	75,430
資産合計	6,414,056	5,930,077

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	474,657	586,515
1年内償還予定の社債	150,000	150,000
短期借入金	1,305,144	1,318,833
リース債務	350	696
未払法人税等	5,918	7,454
賞与引当金	5,002	—
環境対策引当金	3,571	—
その他	167,418	132,277
流動負債合計	2,112,062	2,195,776
固定負債		
社債	495,000	420,000
長期借入金	1,355,777	1,159,859
リース債務	—	3,480
退職給付引当金	117,140	86,772
役員退職慰労引当金	72,300	57,800
その他	10,007	9,941
固定負債合計	2,050,225	1,737,853
負債合計	4,162,287	3,933,629
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	512,325	512,325
資本剰余金	56,182	56,182
利益剰余金	907,634	784,940
自己株式	△4,908	△5,037
株主資本合計	1,471,233	1,348,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,066	53,376
為替換算調整勘定	666,623	548,886
その他の包括利益累計額合計	721,690	602,262
少数株主持分	58,845	45,773
純資産合計	2,251,769	1,996,447
負債純資産合計	6,414,056	5,930,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,480,919	1,615,381
売上原価	1,109,922	1,242,806
売上総利益	370,996	372,574
販売費及び一般管理費	393,961	416,193
営業損失(△)	△22,964	△43,618
営業外収益		
受取利息	789	359
受取配当金	4,501	3,964
助成金収入	750	750
為替差益	11,522	—
その他	2,269	1,981
営業外収益合計	19,832	7,055
営業外費用		
支払利息	24,512	24,152
為替差損	—	7,776
開業費償却	—	9,051
その他	4,624	3,387
営業外費用合計	29,137	44,368
経常損失(△)	△32,269	△80,930
税金等調整前四半期純損失(△)	△32,269	△80,930
法人税、住民税及び事業税	1,320	6,598
法人税等調整額	△2,731	14,621
法人税等合計	△1,410	21,220
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△30,858	△102,151
少数株主損失(△)	△9,809	△10,129
四半期純損失(△)	△21,049	△92,021



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△30,858	△102,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,734	△1,689
為替換算調整勘定	349,787	△120,683
その他の包括利益合計	373,522	△122,372
四半期包括利益	342,663	△224,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,183	△211,449
少数株主に係る四半期包括利益	1,480	△13,075

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△32,269	△80,930
減価償却費	20,940	57,679
貸倒引当金の増減額(△は減少)	280	△94
受取利息及び受取配当金	△5,290	△4,324
支払利息	24,512	24,152
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△20,332	△30,367
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△34,545	△14,500
売上債権の増減額(△は増加)	26,659	△44,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,199	△72,849
仕入債務の増減額(△は減少)	8,558	118,189
未払費用の増減額(△は減少)	2,564	△3,905
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,303	450
未収入金の増減額(△は増加)	△1,327	449
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,947	△5,002
その他	△22,653	3,619
小計	△73,353	△51,698
利息及び配当金の受取額	4,961	4,673
利息の支払額	△24,817	△24,394
法人税等の還付額	27,974	1,407
法人税等の支払額	△3,110	△3,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68,345	△73,065
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	—	35,000
有形固定資産の取得による支出	△281,711	△46,821
無形固定資産の取得による支出	△3,121	△3,253
投資有価証券の取得による支出	△820	△789
繰延資産の取得による支出	△31,950	—
その他	6,558	283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,045	△15,581
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	296,183	40,000
長期借入れによる収入	300,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△251,457	△244,812
社債の償還による支出	△75,000	△75,000
自己株式の取得による支出	△112	△129
リース債務の返済による支出	△637	△350
配当金の支払額	△30,820	△30,660
その他	△3,333	△1,888
財務活動によるキャッシュ・フロー	234,822	△282,840
現金及び現金同等物に係る換算差額	127,360	△20,661
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,208	△392,148
現金及び現金同等物の期首残高	1,463,730	1,205,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,446,522	813,698

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、研磨材製商品の製造販売を事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内製造販売	海外製造販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,438,606	176,775	1,615,381	—	1,615,381
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100,956	—	100,956	△100,956	—
計	1,539,562	176,775	1,716,338	△100,956	1,615,381
セグメント利益又は損失(△)	82,586	△130,713	△48,127	4,509	△43,618

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4,509千円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、研磨材製商品の製造販売を事業内容とする単一セグメントとしておりましたが、中国事業の重要性が高まったことに伴い、セグメントの区分方法の見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを、従来の単一セグメントから「国内製造販売」「海外製造販売」に変更しております。また、前第2四半期連結累計期間については、当該変更後の区分により作り直しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成すると次のとおりになります。

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内製造販売	海外製造販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,335,563	145,355	1,480,919	—	1,480,919
セグメント間の内部売上高 又は振替高	117,130	—	117,130	△117,130	—
計	1,452,693	145,355	1,598,049	△117,130	1,480,919
セグメント利益又は損失(△)	13,639	△40,876	△27,236	4,272	△22,964

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4,272千円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。